

前回定例会（平成25年11月6日）以降の主な動き

平成25年12月4日
資源エネルギー庁
柏崎刈羽地域担当官事務所

1. 原子力・エネルギー政策の見直し

(1) エネルギー基本計画の策定

総合資源エネルギー調査会基本政策分科会

第9回【11月12日開催】、第10回【11月18日開催】、第11回【11月28日開催】

原発事故後の国のエネルギー政策を年内に取りまとめるため議論を継続中。
第9回ではエネルギー供給者（電気事業連合会、日本ガス協会、石油連盟等）からのヒアリングについて
第10回では再生可能エネルギーの課題と対応、LNG共同調達の方角性、エネルギー政策の広聴・広報のあり方等について
第11回では放射性廃棄物WGの検討状況、原子力政策の信頼性向上等について、それぞれ議論。

2. 高レベル放射性廃棄物の最終処分計画見直し

(1) 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会放射性廃棄物WG

第5回【11月8日開催】、第6回【11月20日開催】

停滞している高レベル放射性廃棄物の最終処分のあり方について本年5月より検討。第5～6回では最終処分場の立地選定プロセスについて議論。

(2) 総合資源エネルギー調査会電気事業分科会原子力小委員会地層処分技術WG

第2回【11月27日開催】

上記放射性廃棄物WGの議論とあわせて、これまで進めてきた地層処分の安全性・技術的信頼性について、関連学会等から選ばれた専門家により最新知見等を踏まえた再評価を行い、今年度中に取りまとめを行う。

3. 福島第一原子力発電所汚染水処理対策

(1) 廃炉・汚染水対策チーム会合（第1回）【11月14日開催】

政府原子力災害対策本部下に設置したチーム会合。チーム長の茂木経産大臣ほか副官房長官、関係省庁副大臣等からなる。第1回会合では汚染水対策や風評被害対策についての今後の取組み等について議論。

(2) 汚染水対策現地調整会議（第3回）【11月11日開催】

政府原子力災害対策本部下に設置した現地会議。汚染水問題について現地における政府機関、東京電力等関係者の情報共有、連携を強化し、対策の具体的

な進め方について検討を行う。第3回では緊急対策の進捗状況、現場管理体制等について議論。

(3) 汚染水処理対策委員会

第9回【11月15日開催】、現地調査第【11月11日】、10回【12月3日開催】

学識経験者、研究機関、東京電力、経産省等の委員構成。本委員会では汚染水問題の潜在的リスクを洗いだし、汚染水対策を予防的かつ重層的に実施する。第9回では汚染水処理対策骨子案、サブグループ報告、技術提案のとりまとめ等について、第10回では汚染水処理対策とりまとめ案について議論。

4. その他

(1) 電気事業法改正案（電力システム改革（広域系統運用機関設立））

国会成立【11月13日】

(2) 福島沖浮体式洋上風力発電（2MW+洋上変電所）の試験運転開始【11月11日】

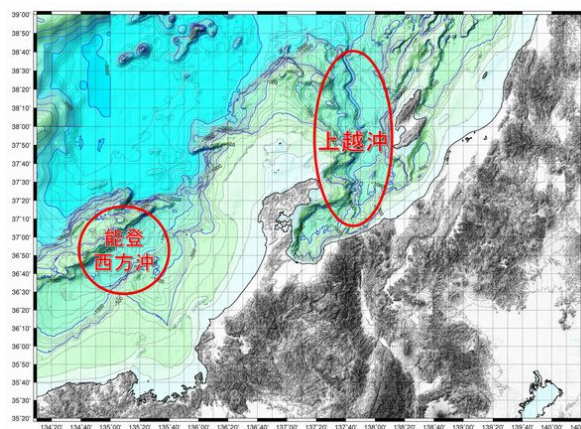
来年度は7MW×2基増設し安全性、信頼性、経済性を評価

(3) 上越沖、能登西方沖で表層型メタンハイドレートを確認【11月29日】

上越沖、能登西方沖の調査の結果、メタンハイドレートの存在の可能性のある構造を225箇所確認



2MW 浮体式洋上風力発電設備



H25年度調査実施海域